

逓信総合博物館郵政資料館の紹介

逓信総合博物館郵政資料館 原田 典子

1. 逓信総合博物館郵政資料館の沿革

逓信総合博物館は、我が国唯一の「情報通信関係の総合博物館」として昭和 39 (1964) 年 12 月に郵政省 (現在の日本郵政公社)、日本電信電話公社 (現在の日本電信電話株式会社)、日本放送協会及び国際電信電話株式会社 (現在の KDDI 株式会社) により設置された博物館です。平成 13 (2001) 年 9 月に KDDI 株式会社が博物館の運営から撤退したため、現在では三機関で運営しています。当博物館の郵政部門を担当しているのが、郵政資料館 (日本郵政公社郵政資料館) です。当博物館の起源は、明治 35 (1902) 年 6 月、万国郵便連合加盟 25 周年の記念事業として当時逓信省 (郵政省の前身) が設置した「郵便博物館」に遡ります。

明治 35 年 6 月に京橋区木挽町逓信省内に創設された「郵便博物館」は、明治 43 (1910) 年 4 月に名称を「逓信博物館」と改め、中央区銀座 8 丁目に完成した逓信省新庁舎構内に移転しました。大正 11 (1922) 年 3 月、千代田区富士見町に移転しました。昭和 20 (1945) 年 4 月、戦火を逃れるため主な資料を疎開させ、一時展示室を閉鎖しましたが、昭和 21 (1946) 年 3 月に資料は戻り、昭和 22 (1947) 年 11 月に再開しました。昭和 24 (1949) 年 6 月、逓信省は電気通信省、郵政省に分割され、郵政省設置法に基づいて、逓信博物館は郵政省の附属機関となりました。昭和 39 年 12 月に千代田区大手町 (現在地) に逓信総合博物館が、四機関による共同運営として発足し、郵政省はこの中核となりました。逓信総合博物館の郵政部門は、昭和 63 (1988) 年 6 月に組織名が郵政省郵政研究所附属資料館となりますが、平成 13 (2001) 年 1 月、省庁再編により総務省が発足すると、総務省郵政研究所附属資料館となり、さらに平成 15 (2003) 年 4 月、日本郵政公社の発足により、日本郵政公社郵政資料館となり、現在に至ります。現在、郵政資料館では、収蔵施設の生物被害を防除するプログラム設計を民間企業とともに進めています。

郵政資料館は、新潟県上越市に「前島記念館」、岡山県岡山市に「坂野記念館」という二つの分館を運営しています。

2. 日本郵政公社郵政資料館所蔵資料

逓信総合博物館の郵政部門を日本郵政公社郵政資料館が担当しています。郵政資料館は郵便創業時の歴史資料 (制服・車両模型・ポスト・証書等) から江戸時代の飛脚

関連資料（道中奉行関連資料・定飛脚日記・宿村大概帳等）を保存し、明治から現在までに発行された日本切手及び切手原画、万国郵便連合を通じて収集された外国切手を所蔵するなど、郵政に関連する幾多の資料を保管しています。また、逓信省・郵政省・日本郵政公社の発行した文書・雑誌・書籍のほか一般で発行された郵政に関する書籍・雑誌等を収集・保存しています。



3. 分館 前島記念館

前島密は、明治4（1871）年、切手を貼ってポストに投函する近代郵便制度の誕生に貢献し「日本郵便の父」と称えられる人物です。前島記念館は、前島密の生まれた上野家の屋敷跡に建てられています。昭和5（1930）年、当時の前島池部郵便局長坂田増五郎氏と稲田郵便局長川崎真治氏が、前島密の業績を顕彰するための記念館の建設を提唱して募金を集め、記念館は、昭



和6（1931）年11月7日にオープンしました。当初は上越三等局長会が記念館の維持に当たっていましたが、昭和12（1937）年12月に国に寄贈され、逓信博物館（現日本郵政公社郵政資料館）の分館となりました。戦時中の昭和20（1945）年4月、逓信博物館の資料は、前島記念館に疎開し、一時的に保管されました。昭和56（1981）年12月、前島記念館開館50周年記念事業として別館が新築されました。現在では本館と別館ともに改修され、一対のデザインとなっております。

記念館では、前島密の駅逋権正の辞令や遺品（裱・扇面画・山水画）・遺墨を中心に日本切手・郵便関係資料が展示されています。

住所：〒943-0119

新潟県上越市大字下池部神明替1317-1

TEL / FAX : 0255-24-5550

建物：鉄骨コンクリート造、地上2階

敷地面積：2,309m² 延床面積：422m²



4. 分館 坂野記念館

明治4（1871）年に創業した郵便事業は、日本の近代化にとともに大きな発展を遂げましたが、明治時代中期になると更なる事業の改善が必要となりました。この時期に逋信省の要職にいた坂野鉄次郎は、郵便関係の法令の改正や制定など数々の事業の改善を行ない、わが国の郵便事業の基礎を確立させました。「郵便中興の恩人」坂野鉄次郎の業績を永く伝えるために建設されたのが坂野記念館です。

坂野記念館は、昭和28（1953）年、生誕の地に建設され、逋信博物館（現日本郵政公社郵政資料館）の分館として運営されました。平成5（1993）年3月には開館40周年を節目として、現在の地に新築移転しました。

記念館では、坂野鉄次郎の辞令・日記や遺品・遺墨を中心に日本切手・郵便関係資料が展示されています。

住所：〒701-1144 岡山県岡山市栢谷 1039-1 TEL : 086-294-5851

建物：鉄骨コンクリート造、地上1階 敷地面積：1,518m² 延床面積：274m²



データシート

平成 18 年 4 月 1 日現在

- ・機関名：通信総合博物館郵政資料館
- ・所在地：〒100-0004 千代田区大手町 2 - 3 - 1
- ・電話 / FAX / E-mail：03-3244-6821 / 03-3244-6820 / n-harada@teihaku.jp
- ・ホームページ：http://www.teipark.jp/
- ・交通： JR 東京駅から徒歩 10 分 地下鉄大手町駅 A4・A5 出口から徒歩 1 分
- ・開館年月日：明治 35 (1902) 年 6 月 20 日
- ・設置根拠： 博物館法第 29 条 (昭和 26 年 12 月 1 日)
日本郵政公社組織規程第 117 条 (平成 15 年 4 月 1 日)
- ・組織：



- ・建物：通信総合博物館本館 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 4 階、地下 2 階
延床面積 13,518m²
- ・収蔵資料の概要 (平成 18 年 4 月 1 日現在)：

計	1,879,598 点
一般資料 (駅通・郵便・貯金・簡保・郵便局・電気通信関係)	64,735 点
切手資料 (日本切手・葉書・エンタィア、外国切手・葉書・エンタィア)	1,763,087 点
図書資料 (駅通志料、明治初期公文書、通信省・郵政省発行物、切手関連図書)	39,464 点
写真資料	12,312 点
- ・開館日数 / 入館者数 (平成 17 年度)：308 日 / 137,556 人
- ・閲覧室開室日数 / 閲覧者数 (平成 17 年度)：193 日 / 599 人
- ・主な事業 (平成 18 年度)：
 - 特別展：江戸の町と東海道展 (5 月)、NIPPON の美～切手・葉書原画でたどる日本美術～ (6・7 月)、ぼくらの小松崎茂展 (10～12 月)、江戸時代の通信・交通資料展 (1～2 月)
 - 企画展：新収蔵寄贈資料展 (6・7 月)、美人工八ガキ (9 月)、明治期越谷郵便局 (10 月)、軍事郵便ものがたり (12 月) ほか
 - その他：博物館実習生の受入れ (9・2 月)、夏休み工作教室 (8 月)、文部科学省連携事業「子ども見学デー」(8 月)、年賀状版画教室 (11・12 月)